



九州大学、糸島市と一緒に日本の将来を支える仕組みを考えてくれるモニタを募集  
6月1日より九大が糸島市等で社会保障サービス実証実験を実施  
— 少子高齢化時代を支える新しい社会保障サービスの仕組みを大学からそして地域から —

## 概要

国立大学法人九州大学（総長 有川節夫）のシステム LSI 研究センター（センター長 福田晃）を中心とし、シャープ株式会社（代表取締役社長 片山幹雄）、大日本印刷株式会社（代表取締役社長 北島義俊）、イオン株式会社（取締役 代表執行役社長 岡田元也）を主力メンバーとするコンソーシアム、福岡経済情報基盤コンソーシアム（代表 安浦寛人九州大学理事・副学長）と糸島市（市長 松本嶺男）では、厚生労働省の指導と、福岡県（知事 麻生渡）、福岡県産業・科学技術振興財団（理事長 麻生渡福岡県知事）の支援の下、糸島市と福岡女子大学（学長 高木誠）、北九州工業高等専門学校（校長 塚本寛）で、6月1日より日本の将来を支える社会保障サービスの実証実験を行うことになりました。

これに伴い、実験に参加して、九州大学及び糸島市と一緒に社会保障サービスのあるべき姿を考えていただけるモニタを募集します。

## 背景

現在、国内においては、国民のライフスタイルの変化に伴い、少子高齢化が急速に進み、人口、特に若年人口が減少傾向にあります。

このような中、社会保障等行政サービス分野においては、コスト負担者の減少と受益者の増加、自治体のスリム化に伴う職員の減少とサービス享受者（受益者）の増加など急激な構造変化が大きな問題となっており、サービスの低コスト化、効率化が将来に向けて緊急の課題となっています。

また一方では、従来の行政システムにおけるサービスの創出特性がもたらした縦割りにより、組織の複雑化、手続きの重複化、情報の分散化・不透明化等が発生し、これによる情報伝達ミスや社会コストの増加が現状の大きな社会問題となっており、これらの解決が急務となっています。

九州大学システム LSI 研究センターでは、これらの問題の解決のため、独自開発した社会情報基盤技術 VRIGS (Value and Right Circulation control System) を用いてより低コストで効果的なサービスを行うことが可能な社会保障サービスの仕組みを提案して、その必要性について同意する企業とともに福岡経済情報基盤コンソーシアムを立ち上げ、昨年度、厚生労働省に提案し、「社会保障カード（仮称）の採択に向けた検討のための実証事業」に採択されました。

採択後、福岡県、福岡県産業・科学技術振興財団の支援の下に、福岡県、糸島市等の協力を受け開発を進めてきましたが、その開発にも漸く目処が付き今年度の6月から2カ月間実証実験を行うことになりました。

## 内容

実験はフィールド実験とシミュレーションを行うことになっており、フィールド実験は国民健康保険、母子健康手帳、乳幼児医療証、各種証明書発行、地域電子マネー等のサービスを行う予定です。シミュレーションは、引越し時の面倒な手続きを省くためにどうすべきかといったようなフィールドで出来ない実証を行う予定です。フィールド実験は糸島市で、シミュレーションは福岡女子大学、北九州工業高等専門学校において両校の協力のもと行うことになっています。

福岡女子大学では女性の視点で見た社会保障サービスのあり方を、北九州工業高等専門学校では技術面から見た社会保障サービスのあるべき姿を学生・教職員の皆さんに、それぞれ模索してもらうことになっていますが、特に糸島市での実験では、一般住民の方々に参加いただいて九州大学や糸島市と一緒に

に社会保障サービスのあり方を考えていただくことを計画しています。

急務にも関わらず日本の行政サービスの低コスト化、効率化は進んでおらず、それどころかアジアの各国にも後れを取っているのが現状です。

九州大学システムL S I 研究センターと福岡経済情報基盤コンソーシアムではより低コストで効率的な行政システムを地域の住民の方々と一緒になり、考えていきたいと考えています。

本当に国民のためになる行政サービスは、サービスを受ける国民の方々と一緒に考えることによってしか解決できません。

糸島市住民の皆様の参加をお待ちしています。

なお、国の実証実験に対する投資を無駄にしないため、厚生労働省の意向を汲み、今回開発したシステムは、地域電子マネーや地域ポイント、九州大学との連携サービスを含む地域サービスのための糸島市民カードとして住民の方々の快適な生活を実現するために利用することを検討しています。

## ■モニター募集要領

○募集期間：2010年5月6日（木）～2010年5月19日（水）

○募集定員：5,000名

○募集対象者：

糸島市在住の方（住民票が糸島市にある方）で以下のいずれかの条件に当てはまる方

- ① 母子健康手帳をお持ちの方
- ② 乳幼児医療証をお持ちの方
- ③ 国民健康保険証をお持ちの方
- ④ 社会保障カード制度に興味をお持ちの方
- ⑤ これからの住民向け公共サービスについて興味をお持ちの方

○応募方法：

（1）インターネットによる申し込み

WEBサイト（URL：<http://e-world.jp/shahocard>）

申込開始前（5月1日以降を予定）に糸島市ホームページからアクセスできます。

（2）実証実験参加申込書の配布場所

糸島市役所、イオン福岡伊都ショッピングセンターサービスカウンター、イオンスーパーセンター志摩店サービスカウンター等に、募集期間中、実証実験参加申込書を準備しています。

（3）実証実験参加申込書受付場所

糸島市役所（他、受付場所については、複数箇所を予定しています）

○必要書類：

- ① 実証実験参加申込書
- ② 実証実験参加同意書（①裏面に署名・捺印）

※応募受付場所で写真撮影を行います。または、実証実験参加申込書に添付してご提出いただきます。

（写真－身分証明書用 縦4.5cm×横3.5cm－）

○対象サービス：

社会保障カード（VRIGS技術搭載ICカード）をモニタに一人一枚持っていただき、次のサービスを利用していただく予定です。

- ① 母子健康手帳サービス
- ② 乳幼児医療証サービス
- ③ 国民健康保険サービス
- ④ 証明書発行サービス
- ⑤ 地域電子マネーサービス（イオン他一般加盟店等での利用を予定）
- ⑥ 情報閲覧サービス（マイページサービス）

○応募条件：

- ①いずれかのサービスを一回以上使っていただけること
- ②アンケートにお答えいただくこと

以上

**【お問い合わせ】**

〒812-8581

福岡県福岡市東区箱崎 6-10-1 旧工学部本館 207 号室

国立大学法人九州大学 システム L S I 研究センター（箱崎分室）

TEL：092-642-7325 FAX：092-642-7078

メールアドレス：info-shaho@slrc.kyushu-u.ac.jp

担当 徳永（tokunaga@slrc.kyushu-u.ac.jp）

羽生（habu@slrc.kyushu-u.ac.jp）